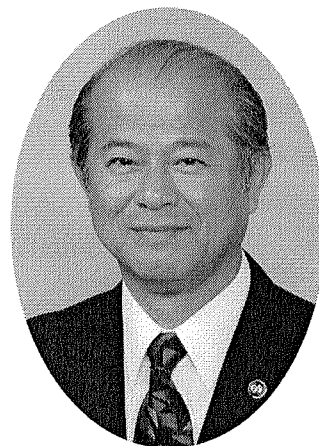


はじめに



「健康」は、市民一人ひとりがこころ豊かで充実した人生の実現や活力ある社会を築く上で重要な基盤であり、すべての人の願いです。

本市の死亡原因の約半数が、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病によるものとなっており、健康的な生活習慣の確立・健康増進が課題となっております。

そのため、平成19年3月に、「健康寿命の延伸」や、「健康でいきいき過ごせる人の増加」、「早世の減少」を目標に掲げて、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とする「健康うるま21」を策定し、「つくろう 広げよう 健康の力！」をめざす姿として市民の健康づくりに取り組んでまいりました。

平成23年度は策定から5年目の中間年度にあたり、これまでの「健康うるま21」計画の取り組みを評価し、市民の生活実態などに基づき健康課題を明らかにすると共に、生活習慣病予防を一層重視した医療制度改革や、近年の社会情勢の変化に応じた取り組みとするため、計画の見直しを行いました。

今回中間評価及び見直しにおいて明確になった課題を解決するため、妊娠期を含め子どもの頃からの望ましい生活習慣の確立をめざし、ライフステージごとの健康づくりに焦点をあて、平成24年度から平成28年度までの「健康うるま21」後期計画を策定しました。

今後はこれまで以上に、目標達成に向けて健康づくりを推進してまいりますので、市民の皆様も一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識をもって主体的に健康づくりにご参加、ご協力をお願いします。

本計画の推進にあたり市民の皆様をはじめ関係各位の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、後期計画の策定にあたりまして、健康実態調査にご協力いただきました市民の皆様をはじめ、うるま市健康づくり推進協議会の委員及び関係機関、団体の皆様より貴重なご意見・ご提言をいただき心から感謝申し上げます。

平成24年（2012年）3月
うるま市長 島袋 俊夫